

授業科目名	疾患別理学療法 I (中枢①)	授業形態	講義	配当学期	2年 (前期)
担当教員名	水谷 貴佐	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>他の理学療法分野と中枢神経系理学療法の大きな違いは、ヒトという動物のなかで最も特徴的な器官である「脳」の障害を対象としているところにあります。現時点でわかっている知識を駆使して、状況を改善する方法を模索する能力が求められます。その基本的な概念および必要な関連知識について学んでいく。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中枢神経系の基礎知識について学ぶ。</li> <li>2. 中枢神経障害によっておこる症状・病態・運動障害の特徴について学ぶ。</li> <li>3. 脳血管障害に対する評価について学ぶ。</li> <li>4. 高次脳機能障害について学ぶ。</li> </ol>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識①				
第 2 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識②				
第 3 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識③				
第 4 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識④				
第 5 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識⑤				
第 6 回	中枢神経系の構造と機能の基礎知識⑥				
第 7 回	脳卒中の病態と治療 (脳梗塞)				
第 8 回	脳卒中の病態と治療 (脳出血)				
第 9 回	脳卒中の病態と治療 (脳画像)				
第 10 回	脳卒中による障害①				
第 11 回	脳卒中による障害②				
第 12 回	脳卒中に対する評価①				
第 13 回	脳卒中に対する評価②				
第 14 回	脳卒中に対する評価③				
第 15 回	高次脳機能障害について				
評価方法	期末試験80%、小テスト20%で評価します。				
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 標準理学療法学 神経理学療法学 第2版 (医学書院) 15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法学 I (中山書店)</p> <p>〔参考図書〕 病気がみえる 脳・神経 (MEDIC MEDIA)</p>				
履修上の 留意点	基礎的医学知識 (解剖学・運動学・生理学・神経内科学についての知識等) をしっかり復習しておいてください				
メッセージ	授業では自発的に学んでいく、また疑問点を追求していく姿勢を大事にしてください。				